

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 169【最新開催セミナーご案内！】

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【2月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□■————— 2022.1.20 Vol.169 ■□

本年も(株)技術情報センターのメルマガをご覧くださいありがとうございます。

厳しい寒さが身にしみる季節ですが、ご健勝にてお越しのこととお慶び申し上げます。

さて、古い時代の冬の生活の知恵に「埋火（うずみび）」があります。

一度熾（おこ）した炭をさして用のない時には火種を永持ちさせるために、灰の中へ少しうめたり、火力の調節の必要から灰をかぶせたりすることを指します。

埋火に手をかざせば温もりがあり、掻き起こせば灰の中から真紅の火が現れます。

見かけは消えかけたように見えても、芯はしっかり燃えています。

ほっとする小さな喜びは冬の夜の風情です。

胸中燃えあがる余力のあることを、この言葉でたとえたりもします。

孤（ひと）り棲（す）む埋火の美のきはまれり
竹下しづの女（たけした しづのじょ）（1887-1951）

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第169号をお届けいたします。

今回も2022年2月開催18セミナーと新規取り扱い書籍情報2タイトルと盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。

□ ■ ————— ■ □
i n d e x

□ ■ ————— ■ □

◇セミナー情報[2022年2月開催セミナー/18件]

2022年2月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-02.html>

◇おすすめセミナーPick Up

2月10日(木)開催

「CO2有効利用／カーボンニュートラルに関する
技術開発と事業動向・展望」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20220211.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報 (2タイトル)

<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇季語に遊ぶ

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202201.pdf>

□ ■ ————— ■ □
セミナー情報

[2022年2月開催セミナー/18件]

□ ■ ————— ■ □

当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。

詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます

URLにてご案内致しております。

■2月8日(火)-----

【オンラインセミナー】
～排出ネットゼロ時代の～
カーボンプライシングの国内外状況・対応策・事業展望及び
TCFD・インターナルカーボンプライシングの動向・実践
★個別（各テーマ）受講可能★
<https://www.tic-co.com/seminar/20220214.html>

■2月9日(水)-----

リチウムイオン電池のリサイクル及び
リチウム回収技術と電池材料の展望
★ライブ配信あり★
<https://www.tic-co.com/seminar/20220212.html>

■2月10日(木)-----

～海外プロジェクトの実例も交えて～
プロジェクトのリスクを考える；不採算につながるリスクへの対応
★ライブ配信あり★
<https://www.tic-co.com/seminar/20220204.html>

■2月10日(木)-----

CO2有効利用／カーボンニュートラルに関する技術開発と事業動向・展望
～講師5名(東芝エネルギーシステムズ、IHI、三菱ケミカル、日本製鉄、鹿島建設)ご登壇～
★ライブ配信あり★
<https://www.tic-co.com/seminar/20220211.html>

■2月15日(火)-----

～耐食性を中心とした～
ステンレス鋼の選び方・使い方とトラブル対策

– 受講者の事前ご質問・ご要望に可能な限り対応、個別相談付 –

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220206.html>

■ 2月15日(火)-----

～脱炭素、再エネ拡大、循環型社会形成へ向けて～

バイオマス発電（コージェネ含む）の事業採算性と失敗しない確実な事業の進め方と、
九電みらいエナジーのバイオマス発電事業とバイオマス資源循環構想の実現に向けて

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220216.html>

■ 2月16日(水)-----

～脱炭素時代に向けた動向を含めた～

圧縮機のエンジニアリング・設計・据付と留意点

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220201.html>

■ 2月16日(水)-----

脱炭素とコスト削減に向けた再エネ電力調達の進め方と実践

～基礎から最新の調達手法、具体的な企画・実務まで～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220209.html>

■ 2月17日(木)-----

脱炭素、CO2削減の要！

最新熱回収の考え方と自然エネルギーをフル活用した

熱交換、ヒートポンプ、暑熱対策の最新事情（実際）の公開

～コロナ対策、低～中温排熱回収と熱融通でエネルギー使用量の

大幅削減方法と事例紹介、経年汚れ、腐食も考慮した徹底した

地球を暖めない省エネ設備を導入していますか？～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220207.html>

■ 2月17日(木)・2月18日(金)-----

～配管設計40余年での経験から解説、配管設計全域を網羅する内容です！！～
プラント配管設計の要点と要素技術

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220202.html>

■2月18日(金)-----

～富士電機、JFEエンジニアリング、INPEXドリリング、清水建設の方々のご登壇～
地熱発電の要素技術と最近の動向

～設備・配管設計、建設事例、掘削、水素製造技術など～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220218.html>

■2月21日(月)-----

電気事業法／省エネ法改正下のERAB新展開

～DER本格市場、蓄電池、再エネアグリゲーションの行方～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220215.html>

■2月22日(火)-----

「脱炭素サバイバル時代」の到来

～求められるスピード感ある対応と先手を打つ電源確保の戦略～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220205.html>

■2月22日(火)-----

廃プラスチックのケミカルリサイクルと

サーマルリサイクルに関する技術開発・事業動向

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220213.html>

■2月24日(木)-----

－水処理・汚泥処理の効率化・低コスト化・省エネを考慮した－

凝集剤の特性と効果的選定・活用法

～「ジャーテスターによる」実演を交えて解説する～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220203.html>

■ 2月24日(木)-----

蓄電池システムの技術開発と活用・適用動向

～講師5名(Tesla、村田製作所、東京電力エナジーパートナー、GSユアサインプラシステムズ、埼玉工業大学)ご登壇～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220208.html>

■ 2月25日(金)-----

脱炭素社会の構築に寄与するメタン発酵とアナモックス技術：
メタン発酵の設計・適用留意点、運転管理・トラブル対策と
バイオガスの利用・消化液処理及び新しい技術の研究

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220210.html>

■ 2月25日(金)-----

ープラント・エンジニアリング・エネルギー分野におけるー
デジタルトランスフォーメーション（DX）の取組みと実際
～千代田化工建設、日揮グローバル、東芝エネルギーシステムズ、
JFEエンジニアリングの方々ご登壇～

★ライブ配信あり★

<https://www.tic-co.com/seminar/20220217.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度
ご覧頂けましたら幸いです。

■ 2022年2月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-02.html>

■ 2022年4月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ ————— ■
おすすめセミナーPick Up

■ ————— ■

今回のPick Upセミナーは

「CO2有効利用／カーボンニュートラルに関する技術開発と事業動向・展望」
～講師5名(東芝エネルギーシステムズ、IHI、三菱ケミカル、日本製鉄、鹿島建設)ご登壇～

です。

本セミナーでは、各企業における二酸化炭素の有効利用およびカーボンニュートラル化に向けた技術・研究開発と事業動向、今後の展望などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。

- 講師 東芝エネルギーシステムズ株式会社
パワーシステム事業部 ヒートサイクル計画・技術部
CO2分離回収開発・拡販グループ マネジャー 岩浅清彦 氏
- 講師 株式会社IHI
技術開発本部 技術基盤センター 物理・化学グループ
主幹研究員 鎌田博之 氏
- 講師 三菱ケミカル株式会社
Science & Innovation Center フェロー 武脇隆彦 氏
- 講師 日本製鉄株式会社
技術開発本部 先端技術研究所 環境基盤研究部
エネルギー技術研究室 研究第1課 課長 中尾憲治 氏

●講 師 鹿島建設株式会社
技術研究所 土木材料グループ 上席研究員 取違 剛 氏

●日 時 2022年 2月 10日(木) 10:00~16:45

●会 場 東京・新お茶の水・連合会館(旧 総評会館)・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信(Zoom)での受講も可能です。

※セミナー資料(テキスト)はセミナー開催日の直前にデータ(pdf)でお送り致します。

●受講料 49,940円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき44,440円)
※テキスト代、消費税を含む

※アーカイブ受講可能

(当日及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴いたします)

1. プログラム1. 2. 3. 4. のみとなりますが、受講料は同額となります。

2. 恐れ入りますが、講師への質問は受付できません。

3. 開催日より7~10営業日以降に配信可能です。

4. お申込時にご記入頂いたメールアドレスへ収録動画の配信準備ができ次第、視聴用URLなどをお送り致します。

5. 動画の公開期間は公開日より、3日間となります。

(アーカイブ受講をご希望の方は、お申込時に通信欄にその旨ご記入をお願い致します。

)

●セミナープログラム●

10:00-11:00

1. カーボンニュートラルに向けたCCUSの動向と東芝の取組み

2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを達成する為には再生可能エネルギーへの転換、省エネ技術確立、CCUSや、それら技術の普及の為の法整備など様々な課題を克服する必要があります。そこで、本講演ではその中でもCCUS技術の普及に必要な取り組みは何か、そして東芝の進めるCCUSプロジェクトを紹介する。

1. CO2分離回収のニーズと現状

2. CCS普及のためのポイント

3. 東芝のCCUSプロジェクト
 3. 1 三川パイロットプラント
 3. 2 環境省環境配慮型CCS実証事業
 3. 3 佐賀市清掃工場CO2分離回収設備整備事業
 3. 4 その他のプロジェクト
4. 質疑応答・名刺交換

(岩浅 氏)

11:15-12:15

2. CO2の燃料および化学原料化によるカーボンリサイクルへの取り組み

いわゆるネットゼロ社会の構築に向けては、化石資源にかわりCO2を炭素源として捉え有価物として再利用するカーボンリサイクル技術の確立が必要である。CO2を燃料や化学原料などの有価物に転換するCO2転換技術についてその原理と特徴を述べる。特にIHIが取り組んでいるカーボンリサイクル技術として触媒を使ったCO2のメタン化や低級オレフィンの合成プロセス等について紹介する。

1. ネットゼロ社会の構築に向けた動向
2. カーボンリサイクルによるCO2転換の原理と特徴
3. IHIにおけるCO2のメタネーションによる燃料化技術
4. IHIにおけるCO2の低級オレフィン化技術の開発
5. カーボンリサイクル技術の実装に向けた課題と展望
6. 質疑応答・名刺交換

(鎌田 氏)

13:15-14:15

3. ゼオライト膜によるCO2分離への応用と人工光合成プロジェクトの概要

ゼオライト膜は種々の分離において用いられている。弊社が開発した高シリカCHA型ゼオライトの紹介とCO2分離への応用について説明する。またCCUにおいて重要となる水素製造に関するNEDOの人工光合成プロジェクトの概要とその中でのゼオライト膜の利用について概説する。

1. ゼオライト膜とは
2. 高シリカCHA型ゼオライト膜の特徴とCO2分離への応用
3. 人工光合成プロジェクトの概要

4. 質疑応答・名刺交換

(武脇 氏)

14:30-15:30

4. 日本製鉄におけるゼロカーボン・スチールに向けたCCU研究開発

日本製鉄では「日本製鉄カーボンニュートラルビジョン2050～ゼロカーボン・スチールへの挑戦～」を掲げ、経営の最重要課題として、2050年カーボンニュートラルの実現にチャレンジしている。鉄鉱石を炭素（コークス）で還元する既存製鉄プロセスに代わり、高炉水素還元製鉄、100%水素直接還元プロセス、大型電炉での高級鋼製造の超革新的技術開発を進めることで、CO₂排出を極限まで抑えることを目指しているが、どうしても一定量発生するCO₂に対しては、CO₂を分離・回収し、地中に埋めて貯留するCCSや、化学品などの原料としてカーボンリサイクルするCCUといったCCUSの技術が必要になる。本講演では、日本製鉄におけるゼロカーボン・スチールに向けた全体概要、化学品原料の製造を目的としたCCU研究開発の取り組みについて紹介する。

1. ゼロカーボン・スチールに向けた取り組み
2. CCUに関する研究開発
3. ポリウレタン中間体製造に関する研究開発
4. 質疑応答・名刺交換

(中尾 氏)

15:45-16:45

5. CO₂吸収型カーボンネガティブコンクリート『CO₂-SUICOM』の開発と今後の展開

コンクリートに含まれるCa成分とCO₂との反応が、炭酸化というキーワードでカーボンリサイクル分野において高い注目を浴びている。本講演では、同反応を積極的に活用することによってカーボンネガティブを実現したCO₂-SUICOMについて、同技術が着目されるに至った背景、ならびに技術の概要、そして、同技術を活用した今後の展開について説明する。

1. カーボンリサイクルにおけるCO₂-SUICOMの位置づけ
2. カーボンネガティブコンクリートCO₂-SUICOM
3. なぜ、コンクリートは、多量のCO₂を排出するのか？
4. セメント使用量の低減によるCO₂排出量の低減
5. CO₂-SUICOMのCO₂吸収・固定の原理

6. CO2-SUICOMの今後の展開

7. 質疑応答・名刺交換

(取違 氏)

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。

<https://www.tic-co.com/seminar/20220211.html>

■ _____ ■
主催セミナー アーカイブ一覧

■ _____ ■

過去に開催致しましたセミナーの当日の様子を録画・編集した動画を配信致しております。
サンプル動画もご視聴頂けますので、是非一度ご覧下さいませ。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

■ _____ ■
新規取り扱い書籍情報（2タイトル）

■ _____ ■

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにてご案内致しております。

---- 《 医薬品・先端医療関係 》 -----

1266件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202201S.html>

今回は第1位に

「-水素発電、アンモニア利用発電など-

低・脱炭素発電に関する技術開発および燃料供給・調達と事業展望」がランクイン。

水素ならびにアンモニアによる発電及び燃料供給・調達、大型・中小型ガスタービンでの利用・技術開発動向と、サプライチェーン構築への取組み、超臨界CO2サイクルとの融合などについて、斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くに関心を集めたのでしよう。

関連セミナーとして

2022年2月10日(木)に

「CO2有効利用／カーボンニュートラルに関する技術開発と事業動向・展望」

～講師5名(東芝エネルギーシステムズ、IHI、三菱ケミカル、日本製鉄、鹿島建設)ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20220211.html>

ならびに、

2022年2月22日(火)に

「「脱炭素サバイバル時代」の到来」

～求められるスピード感ある対応と先手を打つ電源確保の戦略～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20220205.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆

：：：：：：：：：：：

- 第1位 『プラント配管工事工数の合理的な見積法』
<https://www.tic-co.com/books/20190781.html> アクセス数
279件
- 第2位 『プラント概算見積の基礎と実際』
<https://www.tic-co.com/books/20160681.html> アクセス数
265件
- 第3位 『コスト見積の実際<改訂1版>』
<https://www.tic-co.com/books/20110481.html> アクセス数
201件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202201B.html>

今回も前回に続いてプラントの見積り関連書籍

「プラント配管工事工数の合理的な見積法～配管溶接継手当たり工数法～」

「プラント概算見積の基礎と実際」

「-プラント・設備コスト見積入門書として最適-コスト見積の実際<改訂1版>」がベスト3を独占。

事業の計画段階におけるコストの見積は、設備投資の可否、投資の順序あるいは設備投資額を決定するさいのベースになり、また財務的な見通しをつける時の重要資料の一つです。しかし計画段階のコスト見積は、プロジェクトの定義が十分でない中様々なケースを短期間でしかも限られた人員での実施が求められます。設備のユーザー自身で見積を行うことは、手持ち見積コストデータも乏しく大変困難を伴うことが多いと考えられます。しかし競争の激しいグローバル化時代にあっては、関係エンジニアにはコスト見積技術力の向上が期待されているところであります。

上記書籍は、こうした時代のプラントの見積に関する基礎知識、基本的な見積手法および実際的な見積例などを示し解説したものでコストエンジニアリング能力向上の糸口になる内容が関心を集めてのランクインでしょう。

関連セミナーとして

2022年2月17日(木)・18日(金)に
～配管設計40余年での経験から解説、配管設計全域を網羅する内容です！！～
「プラント配管設計の要点と要素技術」
を開催します。
詳しい内容はこちらをご覧ください。→
<https://www.tic-co.com/seminar/20220202.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ _____ ■
E-mail変更・不要について
 ■ _____ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」と
ご記入頂き、本文には、

- ★ 旧E-mailアドレス
- ★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」と
ご記入頂き、本文には、

- ★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう
お願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、
ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

■ _____ ■
季語に遊ぶ
 ■ _____ ■

「冬に観たい名画と俳句」

前回よりめぐり来る季節に合う名画と俳句を選びお届けしています。

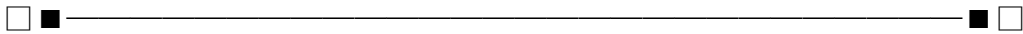
第2回目は「冬」に観たい名画と俳句です。

絵画の制作年順にとりあげています。

ブリューゲル、葛飾北斎、歌川広重、ゴッホ、ヴァスネツォフの作品で冬を感じていただき、世界最短の定型詩で俳人の季節に対する感性をお楽しみ下さい。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202201.pdf>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[TEL] 06-6358-0141

[FAX] 06-6358-0134

[URL] <https://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com